

若手・女性会員を増やそう

名古屋支部

平成30年名古屋支部の総会は

6月30日(土) 正午から三菱UFJ銀行主税町クラブで行われた。すでに暑い日が続いていたが、本部から来賓として野々下100周年記念事業実行委員長、柴田四極会事務局長をお迎えし、また当支部の顧問をお願いしている大野公義先生も参加され総勢15名が出席し開催した。

尚、今回も車椅子で吉田さん

(前支部長)がリハビリ病院から直接参加されて出席者一同感激した。

先ず、川崎事務局長が開会の言葉を述べ、続いて高橋支部長からは100周年に向けて支部組織の強化、「学縁」を大切に、特に若手会員、女性会員の参加を促していく。囲碁、合唱、麻雀などの趣味やボランティア活動を通じて、繋がりを応援していく。マルベリークラブ(桑の葉の地産地消活用)を支援できる人は出来る範囲で協力願いた

いと発言した。

続いて、野々下委員長から西暦2022年の100周年記念事業へ向けての今までの4つの委員会の答申を踏まえた具体策を実施していきたい、柴田事務局長からは記念事業の実務面からの取組依頼などの話があった。

続いて、川崎事務局長から平成29年度会計報告並びに平成30年度予算について報告があり、会計報告については伊東監事が適正である旨述べ、決算・予算とも出席会員全員の承認を得て可決、成立した。

その後、大野先生の乾杯のご発声で懇親会に入った。司会は事務局長が行い、返信のあつた



顧問の大野先生を囲んで15名が出席
(三菱UFJ銀行主税町クラブで)

欠席者の回答が先ず報告された。

続いて参加者の近況報告が事務局長の司会でスタート、和やかな雰囲気の中参加者が絵画、囲碁、家庭菜園など趣味の話、地域のボランティア活動、職場の話、現在3名が関わっているマルベリークラブの活動状況などが報告された。

その中で、安達さんが住まいの近くの神社の氏子総代になったこと、司会の事務局長はいつもの切れがないと思っていたところ体調を壊し通院している由、早期の快癒を祈りたい。

尚、会場には、藤澤さん、福本さん、安達さんらの尽力でマルベリークラブ中部の「桑の葉茶」関係の即売コーナーも設けられた。

懇親会は和やかな雰囲気の中、同窓生ならではの先輩・後輩の分け隔てのない懇談が続き、気が付けば予定していた2時間はあつと言う間に過ぎていた。

最後に監事の伊東さんの音頭で、校歌・寮歌・逍遙歌を力強く斉唱し総会は終了した。

尚、会場で写したのがこの写真である。その後、時間に余裕

がある者は同じJFのレストラんで大野先生を囲んでの懇談、地下の麻雀組、予定がある者それぞれに分かれ散会した。

▼出席者(敬称略)

「来賓」野々下俊昭理事・100周年実行委員長(大12)、柴田宏二常務理事(大17)
「会員」大野公義先生、吉田昂

弘(大10)、坪根治(大13)、藤澤秀機(大15)、牛島照茂(大19)、福本秀和(大19)、安達隆文(大21)、川崎義雄(大21)、高橋成行(大21)、下田辰己(大23)、下成誠(大24)、伊東孝之(大26)、高橋幸男(大37)
(高橋成行 記)